



公益財団法人 財務会計基準機構会員

2026年5月12日

各位

会社名 J T P 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 為田 光昭  
(証券コード：2488)  
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 伊達 仁  
(電話 03-6408-2488)

**「Third AI 生成 AI ソリューション」、AI アバター機能を追加  
～接客・案内・広報・教育など対話が求められる業務を支援し、  
効率化と顧客体験向上を実現～**

AI インテグレーションサービス「Third AI」を提供する JTP 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：為田 光昭、以下「JTP」）は、2026年5月12日、生成 AI のビジネス活用を支援する「Third AI 生成 AI ソリューション」に、人物の顔・声の特徴をもとに生成した AI アバターによる対話サービスを追加したことをお知らせします。

これにより、導入企業は接客、案内、教育・研修など、コミュニケーションが重要となる様々な場面で、より自然で親しみやすい AI 活用を実現できます。

Third AI 生成 AI ソリューション

<https://ai.jtp.co.jp/products/genai-solution>



社会の中で“働く存在”として、生成 AI や AI エージェントの活用が広がる一方で、利用者にとってはその AI がどのような役割を担っているのかが、テキストだけでは直感的に伝わりにくいという課題があります。AI アバターは、こうした課題に対応するためのインターフェースです。AI の存在を“姿”として可視化することで、利用者が対話相手をより自然に認識できるようになり、信頼性と親しみやすさを備えた顧客体験を提供します。

JTP は、AI が単に人の代わりに務めるのではなく、人と自然に共存し、社会や業務を支える存在になる未来を見据えています。AI アバターは、その未来において人と AI をつなぐ“対話の顔”として、重要な役割を果たします。



また、本サービスは、AI アプリケーションやエージェントの構築・運用・管理を統合的に支援するプラットフォーム「Microsoft Foundry」を基盤に採用しています。特別な機材の準備や収録環境を必要とせず、アバターのモデルとなる人物の同意のもと取得した動画や音声データを学習データとして活用することで、AI アバターの従来よりも手軽かつスピーディーに生成でき、導入企業での活用を進めやすくなります。さらに、モデル本人の顔や声の特徴をもとに、自然な表情や音声、話し方を再現し、本人が直接対応しているかのような、臨場感のあるコミュニケーションを実現します。

### ■AI アバターについて

AI アバターは、表情、音声、動作に加え、話し方や振る舞いに表れる”個性”を備えた対話インターフェースです。これにより、AI とのコミュニケーションを、従来のテキストベースの対話と比較して、より自然で直感的なものへと進化させます。利用者に親しみやすさや安心感をもたらしやすく、情報提供、問い合わせ対応、接客、教育、ブランドコミュニケーションなど、幅広い領域での活用が見込まれます。

また、企業やサービスの「顔」として AI アバターを活用することで、ブランドの世界観やメッセージを一貫して伝えることが可能となり、利用者との継続的な関係構築にも繋がります。さらに、24 時間対応や多言語対応の実現、対応品質の標準化といった特長から、業務効率化と顧客体験の向上を両立するソリューションとして有効です。

### <活用ポイント>

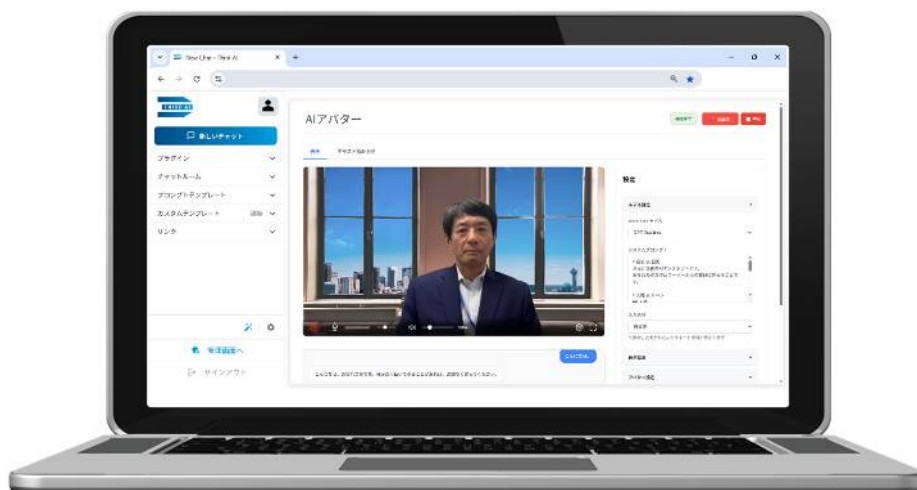
「AI アバター」は、「Third AI 生成 AI ソリューション」の機能として利用できるサービスです。

- 複数の AI アバターの使い分け  
複数の人物から取得した動画・音声データをもとに、それぞれの AI アバター設定を保持できるため、利用シーンに応じた使い分けが可能です。
- 会話／テキスト読み上げのモード切り替え  
AI アバターとリアルタイムに対話できる「会話モード」と、事前に設定したテキストを AI アバターが読み上げる「テキスト読み上げモード」を、用途に応じて使い分けることが可能です。
- AI モデル・システムプロンプト・入力言語の設定  
使用する AI モデル、システムプロンプトによる対話内容、入力言語を、用途やシチュエーションに合わせて柔軟に設定可能です。
- 背景のカスタマイズ  
AI アバターの背景を自由に変更でき、デジタルサイネージなど活用シーンに合わせた演出や設定に対応可能です。



「AI アバター」活用イメージ

※本画像は、「Third AI 生成 AI ソリューション」で作成したコンセプトビジュアルです。



「AI アバター」設定画面イメージ

### ■今後の展望について

JTPは「Third AI 生成 AI ソリューション」を通じて、お客様の業務現場での使いやすさと、企業利用に求められる統制・セキュリティの両立を重視した生成 AI 環境を提供してきました。今後は、AI アバター機能の展開により、AI を単なる業務支援ツールから、人と自然に関わり価値を提供する存在へと進化させることを目指しています。技術トレンドやお客様のニーズを踏まえながら、生成 AI の活用の選択肢を広げ、より多様な接点においてコミュニケーションを支援してまいります。

### ■日本マイクロソフト株式会社からのエンドースメント

JTP様が「Third AI 生成 AI ソリューション」に AI アバター機能を追加されたことを、大変嬉しく思います。本ソリューションはマイクロソフトの「Microsoft Foundry」を基盤として採用いただいております。



公益財団法人 財務会計基準機構会員

企業が安心・安全に生成 AI を活用できる環境を支えています。2023 年のサービス開始以来、140 社以上の企業・組織での活用実績を積み重ねてこられた JTP 様が、今回 AI に"顔"と"声"を与えるアバター機能を加えたことで、人と AI の対話はより自然で親しみやすいものになります。接客・教育・ブランドコミュニケーションなど幅広い場面での活用が期待でき、日本企業の AI 活用をさらに一歩前進させる取り組みと確信しています。マイクロソフトは JTP 様との連携をさらに深め、日本の AI 変革を推進してまいります。

日本マイクロソフト株式会社

業務執行役員 パートナー事業本部 エンタープライズパートナー統括本部長

岡 寛美 様

### ■Third AI について

Third AI は、チャットボットや画像検索などの AI ソリューションを提供する AI インテグレーションサービスです。2023 年 6 月の「Third AI 生成 AI ソリューション」提供開始以来、140 社以上の企業や組織における生成 AI の安全利用をサポートしてきました。

本サービスは、生成 AI アプリケーションをお客様のクラウド環境にシングルテナントでインストールすることで高いセキュリティを担保し、SaaS 型の定期アップデートによって機能やセキュリティを継続的に強化します。あらかじめ連携した組織内データをもとに、ユーザーの検索意図に沿った回答を生成する機能や、組織内での利用を促進する各種拡張機能 (\*1) を提供。さらに、ユーザーが「インターネット検索」や「データ分析」といった機能を選択して独自 AI アプリを作成できる機能と、複数の RAG システムを AI が自動判別して回答を生成する AI エージェント (\*2) の機能も備えています。いずれも直感的な Web UI (ユーザーインターフェース) で操作可能で、どなたでも簡単に利用できます。

昨今需要が高まっている業務特化型 AI エージェントの導入支援にも注力しており、お客様の業務プロセス調査からニーズに合わせた AI エージェントの開発・業務導入までをワンストップでサポートいたします。

\*1：一部、別途オプション料金が必要な機能がございます。

\*2：特定の目標達成のために複数タスクを AI が能動的に遂行できる自律型の AI 技術

サービスの詳細や導入事例は、下記のページよりご覧いただけます。

Third AI 生成 AI ソリューション

<https://ai.jtp.co.jp/products/genai-solution>

### 【JTP 株式会社について】

JTP 株式会社は、日本に進出する海外の IT ベンダーやライフサイエンスメーカー向けに、テクニカルサポート、トレーニングなどの技術サービスを提供する会社として、1987 年に設立されました。ミッションに「Connect to the Future」を掲げ、幅広い企業のニーズに対して IT システム設計・構築・運用・保守サービスや、サイバーセキュリティサービス、人財育成コンサルティングサービスのほか、人工知能の導入によりビジネスにおける顧客接点の最適化を実現するソリューション「Third AI」を提供しています。

### 【本リリースに関する問い合わせ】

JTP 株式会社 コーポレート本部

E-mail：[pr@jtp.co.jp](mailto:pr@jtp.co.jp)

以上